

# せい湾の生物環境

～せい湾の生物～



ウニ  
3層の殻が存在する。食用とされる。予想の通り。



ヒトデ  
何れも食べ物のかわりに自力で動く。



ウニ  
中心動脈と危険を感じると自動的に逃げ出す。



ホタテ  
とてもおいしい食物。



クラゲ  
色々な種類が生き残っている。



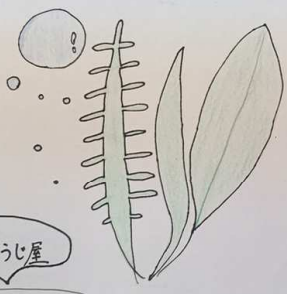
～せい湾の環境～

# ナッコの食事・環境

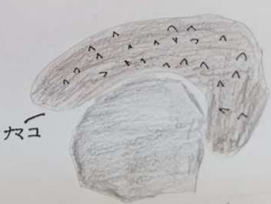


赤潮

ナッコは海の酸性化を告げる



海のはし屋



ナッコ

バクテリア

# ナマコの 魚獲量について



昔は多く食べられていなかったため、魚獲量が少なかったが、2003年から右肩上がりで増えていった。しかし、中国が大量に獲るため、ここ最近ではナマコが減ってきている。



青森県では、陸奥湾などで多く獲っている。

# ナマコの 夏眠

ナマコは夏になると冬に活動する体力を残すために夏眠を始めます。

ナマコの夏眠は温度が低い場所で行われるので、水深が深く、岩礁の裏などの光が届かない所を好む。

ほとんどのナマコは水温18℃を超えると夏眠を始めるともわかっている。





# ウニの天敵は？



- ・人間
- ・フグ
- ・ラッコ
- ・ハリセンボン
- ・ヒトデ
- ・オオカミウオ
- ・タコ、カニ
- ・イシダイ
- ・イシガキダイ

## ウニが食べるもの

### ・海藻類

- ・コンブ
- ・ワカメ
- ・カジメ



# 棘皮動物について

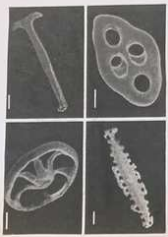
管足を伸ばすコシダガカニ  
 管足の表面の模様は五放射相称  
 に配列しているのがわかります。



体が五放射相称  
 五放射相称とは5つ放射状  
 に並んでいる形のこと。



さまざまなナマコのおぼろの骨片  
 ヒメコ(左上)・テツノコ(右上)  
 ヒメオカリナマコ(左下)・ムラサキケ  
 ナマコ(右下)



イトナキヒトデの乾燥標本  
 多数の骨片が組み合わさって  
 体が形作られています。

